

## あなたの使命とは何か？(14):「あなたの居場所はどこ？」 メッセージノート (2023.2.19)

- ・ 多くの人々が、自分の居場所、本当に所属できる所を探している。アマゾンで「居場所」と入れてどんな本が出てくるか調べたら、「居場所がない」と感じている人が読みたくなるような本が数え切れないほど出てきた。

エペソ 2:19-22<sup>19</sup> こういうわけで、あなたがたは、もはや他国人でも寄留者でもなく、聖徒たちと同じ国の民であり、神の家族なのです。<sup>20</sup> 使徒たちや預言者たちという土台の上に建てられていて、キリスト・イエスご自身がその要の石です。<sup>21</sup> このキリストにあって、建物の全体が組み合わされて成長し、主にある聖なる宮となります。<sup>22</sup> あなたがたも、このキリストにあって、ともに築き上げられ、御霊によって神の御住まいとなるのです。(新改訳)

### ◆ はじめに

- ・ 先週は、「和解」について学んだ。それは、神の赦しの恵みの経験が、他の人のした過ちを赦すことができるようにするということであったが、今週は、さらに一歩進んで、「和解の目的」について学んでいく。
- ・ 聖書によれば、神は私たちのいるところに来てくださり「友」になってくださり、さらには、私たちを「神の家族」の一員にしてくださったという。→<sup>19</sup>「こういうわけで、あなたがたは、もはや他国人でも寄留者でもなく、聖徒たちと同じ国の民であり、神の家族なのです」。
- ・ 「神の家族」としての立場が与えられていることだけでも有難いのに、「私」にも意味深い貢献が用意されているという。それは、まさに私の居場所に他ならない。今日は、このことについて学んでみたい。

### ◆ 聖なる宮(同国人、神の家族に続いて)

神の神殿を築き上げる大小様々な石(岩)の一つとして用いられる(そこに居場所を見出す)

- ・ 緻密な設計図によって遂行されている遠大な神の計画の中に、「私」も組み込まれているという  
土台:①「使徒たち」:歴史の初めから預言されていた人類の救いである「十字架と復活」を目撃した証人達。  
②「預言者たち」:旧約時代の預言者のことではなく、神から示された言葉を語る賜物を与えられた教師のこと。聖書では、聖書の言葉を解き明かす教師と同義語的に使われる。  
➢ 私たちも、常に神のみこころに従って行動するという土台に立って生きる。  
要石(隅石):様々な石をつなぎ合わせる石(岩)でのことで、それはキリストである。すべての人々を繋ぐ絆。
- ・ 私たちが神の神殿の一部となる  
「聖なる宮」:人々が思い浮かべたのはエペソのアルテミス神殿、またはアテネのパルテノン神殿であろう。パウロの頭にはエルサレムの神殿のイメージもあったかもしれないが、「宮」は、「ナオス」という言葉で、神殿全体ではなく、聖所を表す。神と出会う大切な場であり、外壁や輪郭を示す部分には使われない。  
➢ 特に精密に組み合わされ造られていた。そこに私たちの貢献の場が用意されているということ。

### ◆ どうやって組み合わされていくのか？(どのようにして私は神の家族の中で貢献できるのか？)

<sup>21</sup> このキリストにあって、建物の全体が組み合わされて成長し、主にある聖なる宮となります。<sup>22</sup> あなたがたも、このキリストにあって、ともに築き上げられ、御霊によって神の御住まいとなるのです。

#### 1. 神に導かれて:「キリストにあって」

- ・ 21 節にも 22 節にも文頭に「キリストにあって」という言葉が出てくるが、「要の石」であるキリストとどれだけ深い関係を持っているだろうか？一日の中で、静かに神の声に耳を傾ける時を持っているか？

- ・ 先週学んだように、キリストの赦しの恵みを日々経験していくことが重要である。それは、知恵と愛と力と安らぎで満ちておられるイエスとの時間を実感することだ。主は、いつも共にいてくださっている。  
*ピリピ 4:13* 私を強くしてくださる方によって、どんなことでもできるのです。  
*イザヤ44:8* 恐れるな。決して恐れるな。わたしは古くから、あなたを救うと言っていたではないか。あなたがたはわたしの証人だ。わたしのほかに神があろうか。断じていない。わたしのほかに岩はない。
- ◇ 苦しい時、こうしたみことばを神が自分に語っていると受け取ることができたら、どれ程励まされるだろう！

## 2. これまでの経験が生かされて:「組み合わせられ」

- ・ 「組み合わせられ」(スナルモロゲオー):ピッタリ合わさるという意味。建設用語で、石を組み合わせる精緻な全行程を表す言葉。土台表面を整え、石の切断、削り、合わせ、留め金の鉛の釘で石を固定するまでを含む。
- ・ ソロモンが神殿を建設した時、現場では全く作業の音が聞こえなかった。それは、前もって全ての部材が別の所で計画通りの大きさに整えられて持って来られたからだ。  
*1列王記6:7* 神殿の建築は、石切り場でよく準備された石を用いて行われたので、建築中の神殿では、槌、つるはし、その他、鉄の道具の音は全く聞こえなかった。
- ・ ここには、霊的な意味がある。神は、形の異なる大小様々な石をご自分の青写真に従って用意されている。それは、私たちが神に出会う前から進められていた。才能も経験ばかりでなく失敗をも用いて今の私たちを育てて来られた。そして、これからも続けられる神の私のためのカスタムメイドの訓練である。
- ・ 時に削り取られるという痛い経験もしたが、それは、あなたが神の宮(教会)を建て上げていくために神が必要とした形(人格やスキル)を身につけさせるためであった。
- そして、切り出され運ばれて来た時、あなたは、自分の居場所を見出したか？教会とは、切り出されて来た者達が、組み立てられていく場所である。

## 3. 絶妙な神の手で:「共に築き上げられ」

- ・ 「共に築き上げられ」(スノイゴドメオー):(建築にも人間の体にも使われる)他の部分や人たちと共に建てあげる、一緒に築き上げられるという意味。受け身の現在形で、その過程は今なお続けられていることを表す。
- ・ 前の言葉(2)が、個人として経験してきたことに対し、こちらは、合わせられた人と一緒に整えられていく歩みを表している。ここは、教会で共に切磋琢磨していく過程である。  
*箴言 27:17* 鉄は鉄をもって研磨する。人はその友によって研磨される。
- ・ もちろん、神がその背後にいて人との出会いを用意され、また、「キリストにあって(キリストの導きに従って)」互いに研鑽し合っていく。神は、私に必要な人と出会わせてくださる。  
*1ヨハネ4:12* 誰も神を肉眼で見たことはない。だが、私たちが互いに愛し合うのなら、神は私たちの中に住み、一人子を送った神の愛の目的が全うされるのだ! (Alive) cf. 「神の愛が全うされる」。

## ◆ まとめ

- ・ キリストの愛を日々受け取っているか？神の知恵と力について、1日の中でどこまで思い巡らしているか？
- ・ これまでの人生の経験の中で、削り取られることの中で学んだ一番大切な教訓は何か？
- ・ 今あなたが一緒に成長するように神が近くに置かれている人がいるだろうか？
- ・ あなたの居場所はどこか？どんな貢献ができると思うか？